

元町だより

令和6年11月吉日
京都市立元町小学校
校長 日坂 光男



11月特別号

令和6年度 第1回学校評価のご報告

木々の葉も色づき、一段と秋の深まりを感じる頃となりました。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。7月に実施した「学校評価保護者アンケート」「元町っ子アンケート(子ども)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下に、ご報告させていただきます。

学校教育目標

自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成
～進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める元町っ子～

目指す子ども像

「も」もっと学びたいと思える子ども
「と」ともだちを大切にできる子ども
「ま」まいにち笑顔で過ごせる子ども
「ち」チャレンジしながら、考えて話せる子ども

概要

昨年度までは、「対話力」と「挑戦力」に重きを置き、進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める研究を行ってきました。今年度は、学校教育目標「自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成」を受けて、「主体的・対話的で深い学びの充実による「対話力」「問題解決力」の育成」という研究主題で教育活動を進めています。昨年度から引き続き「対話力」に重点を置きながら、あわせて「問題解決力」にも力を入れています。子どもたちが「どうしてなのだろう?」「この学習問題を解決したい」「考えてみたい」と学習に興味をもつことができるような授業展開を工夫し、昨年度まで取り組んできた対話を必要な場面に効果的に取り入れようとしています。

学校評価においては、学校教育目標の目指す子ども像(も・と・ま・ち)に照らし合わせて、評価項目を「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「学校独自の取組」と設定しました。今年度、昨年度と項目の内容を変更したり、新しく付け加えたりしたところもあり、比較できない項目も出てきています。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今年も全学年オンラインで回答しました。多くの項目で80%以上が「できている」と答えています。自分の行動をふり返り、前向きに取り組むことができていると認識できる機会となつたのではないかでしょうか。

保護者アンケートは、今回もすぐ一からオンラインで回答いただきました。昨年度に比べて、回収率は82%と、8%も上がりました。多くの保護者の皆様のご意見を頂くことができ、感謝しています。全体を通して、ほとんどの項目で実現度は80%以上でした。「教職員自己評価」についても、多くの項目で実現度は80%以上でした。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後も皆様のご協力をいただきながら、一人一人の子どもを大切にした取組をしていきたいと思います。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。第2回学校評価は、1月に予定しています。

※昨年度の質問内容は、「学習中に楽しく話合い活動を行っている」でした。内容が変更しているため（ ）としています。

○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』・『だいたいできている』を合わせた数値

		質問項目	子ども実現度		保護者実現度		教職員実現度	
			R5	R6	R5	R6	R5	R6
学校生活	1	学校で楽しく過ごす	93%	94%	97%	95%	100%	93%
	2	進んであいさつをする	88	91	89	88	94	93
	3	夢や目標に向かってチャレンジしようとしている	86	87	89	85	94	100
（確かな学力） もっと学びたいと思える	1	授業中に学習のルールを守る	89	91			100	100
	2	授業や帯時間の学習に集中して取り組む	78	87	84	88	85	92
	3	家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	89	90	75	83	94	100
	4	本をよく読む	76	76	50	62		91
（豊かな心） ともだちを大切にできる	1	誰とでも仲良くする	86	90	98	97	100	92
	2	相手の思いや考えをよく聞こうとする	91	87	86	94	88	85
	3	相手の気持ちを考えて行動する	86	92	87	94	94	84
	4	たてわり活動で楽しく活動する		90		97		100
（健やかな体） まいにち笑顔で過ごせる	1	自分の体や心を大切にする	90	94	99	100	100	100
	2	生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	86	90	89	92	100	92
	3	進んで外遊びや運動をする	86	86	80	83	76	84
	4	安全に気を付けて過ごす	92	98	93	97	94	96
（学校独自の取組） チャレンジしながら考えて話せる	1	興味をもって学習に取り組んでいる	84	83		77	100	100
	2	友だちと話すことで考えを深めている	※(91)	84			※(81)	100
	3	課題や問題に自分から進んで取り組む	86	80			88	92
	4	タブレットを活用する	91	91		88	94	84

主な成果と課題

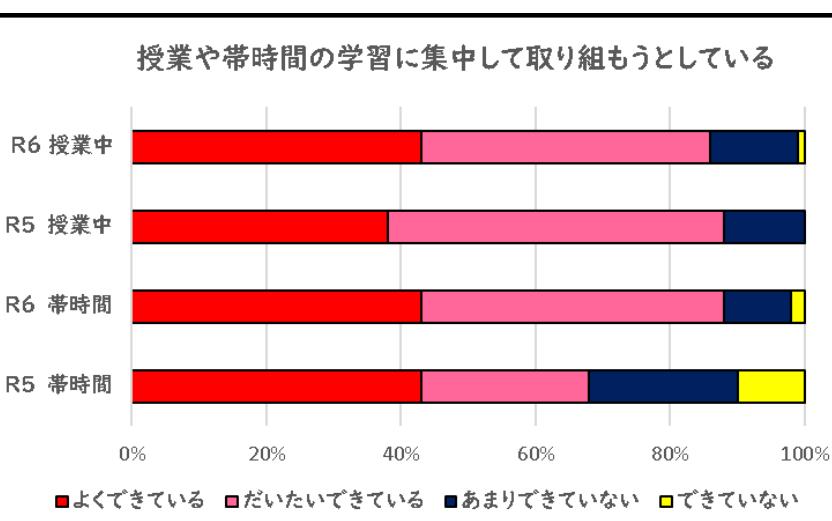
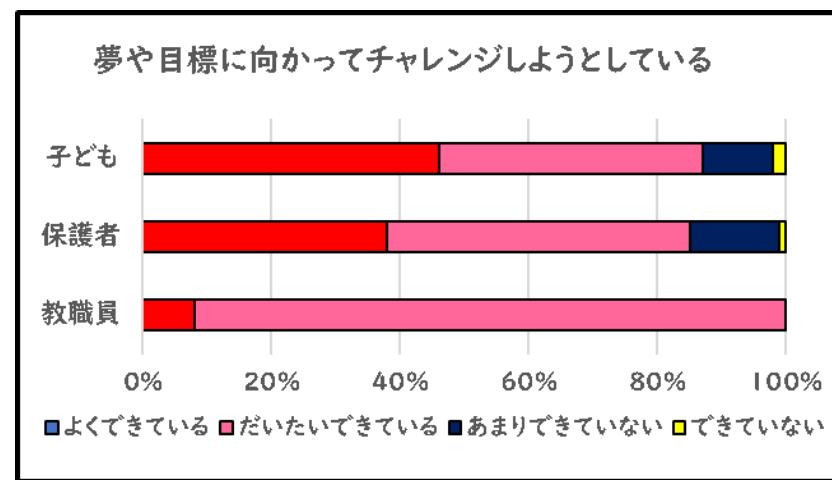
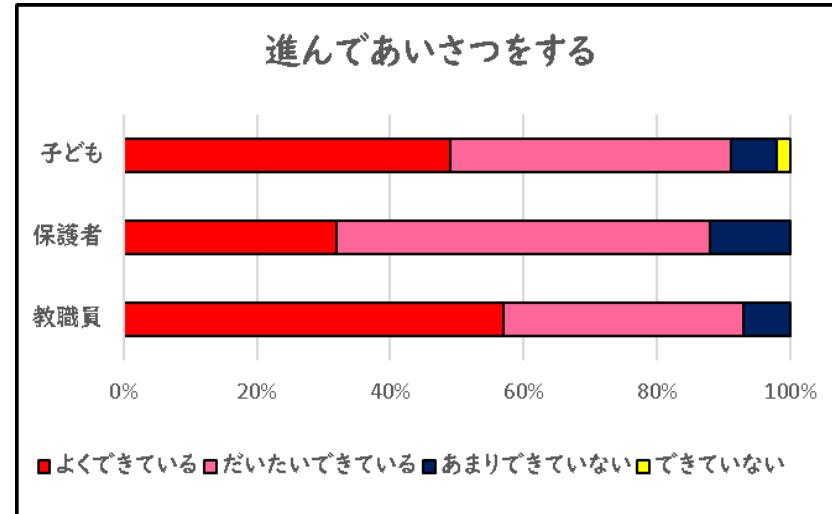
<学校生活>

今年度の学校教育目標は、「自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成」としています。夢だけではなく自分の掲げた目標に向かっても進んで行動できる子どもを目指しています。そこで、アンケートの項目も昨年度の「色々なことにチャレンジしようとしていますか」という文言から「夢や目標に向かって、チャレンジしようとしていますか」という文言に変更しました。子どもたちは、自分の夢や目標をイメージしてアンケートに答えていました。87%の子どもたちがチャレンジしていると答えています。内訳を見てみると、「よくできている」と回答した子どもは、46%と昨年度よりも7%多くなっています。毎月行っているキャリアデザインなどを通して、夢や目標を明確にもって行動している子どもが増えてきているように感じます。一方で、チャレンジすることが「できていない」と回答した子どもも2%いました。小さなことからでも目標を立て、それを達成した喜びを感じ、自己肯定感を高めることも大切にしたいです。

<もっと学びたいと思える子ども>

学習に関する実現度は、昨年度末よりも全体的に増えています。「授業や帯時間の学習に集中して取り組んでいる」と回答した子どもは、87%でした。昨年度は、授業中は集中して取り組んでいるが、帯時間では授業中ほど集中して取り組めていない実態がありました。しかし、今回のアンケートでは、授業中も帯時間も85%以上の子どもが実現できていると回答しています。帯時間には、昨年度から始めた算数プリントや漢字の小テストなどを行い、学習の基礎基本の定着を図っています。算数プリントでは、自分のやりたいプリントを選ぶだけではなく、今の学習に応じた問題に取り組む、1枚は提示したプリントを行い、それができたら自分で選んだプリントを行うなど、取り組み方も子どもの実態に合わせた内容に変更しています。

「宿題や自主学習に進んで取り組んでいる」の実現度は、昨年度末とほぼ同じ値でした。しかし、内訳を見てみると「よくできている」と回答している子どもは、46%と下がっています。逆に「だいたいできている」と回答した子



どもが増えています。保護者のアンケートでは、昨年度よりも実現度は増えています。家庭学習について以下のような意見がありました。

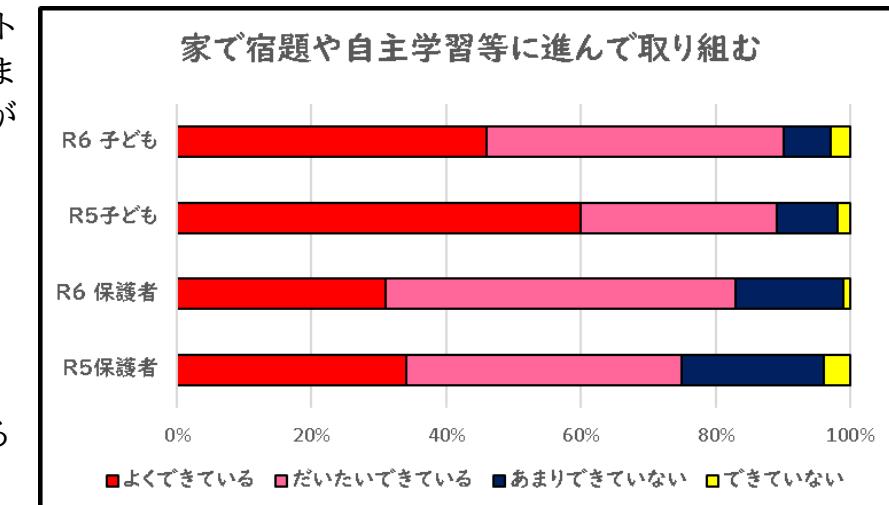
【困り】

- △自学自習の内容がわかりにくい。
- △なかなか集中できない。本人のやる気が起きない。取り掛かるまでに時間がかかる。
- △分からぬ問題が出てきたときにやる気がなくなるので困る。
- △計算ミスや答え合わせが間違っている頻度が多い。自分で確認しながら作業する癖を付けさせたいが難しい。

【工夫】

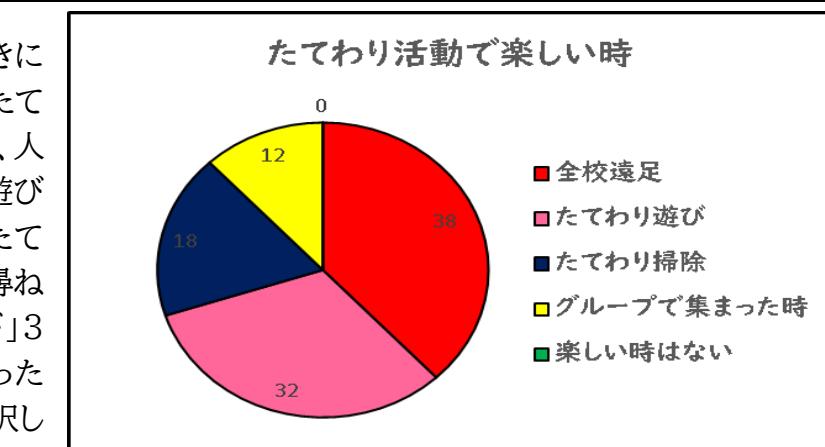
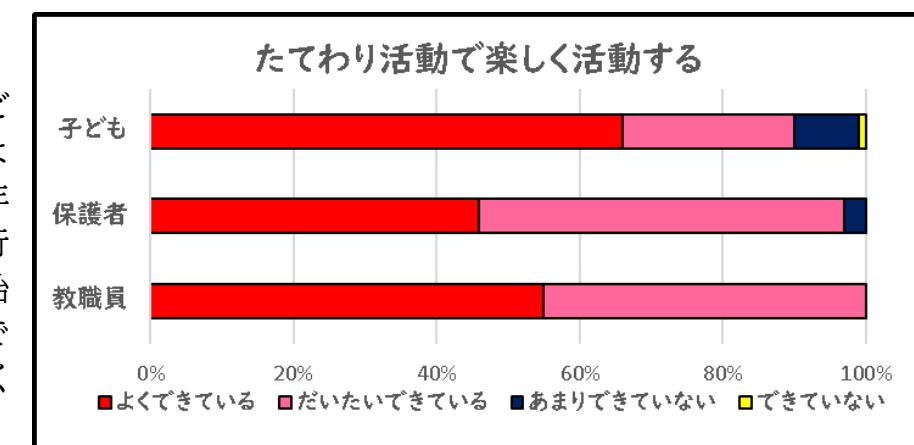
- 時間を計ったら、意外と短時間で終わると気づき、以前より少しだけ前向きに取り組めるようになった。
- テストの予定が分かるので、それに向けて計画しながら自主学習に取り組んでいる。
- 苦手なことを楽しく克服できるような工夫。分からぬことを自分で考えられるように声かけ。
- 終わる時間を決めるようにしている。

自主学習においては、内容や進め方を明確に示し、子どもたちに見通しをもたせることが大切になってきます。そのために、どのように進めていけばよいのかを明示したり、良いノートの紹介や交流をしたりする等の学年に応じた支援が必要になってきます。子どもたちが自学自習できるように、学年に合わせて取り組んでいくと共に、自主的に学習に取り組めるよう、学校と家庭の両輪で支えていなければと考えています。



<ともだちを大切にできる子ども>

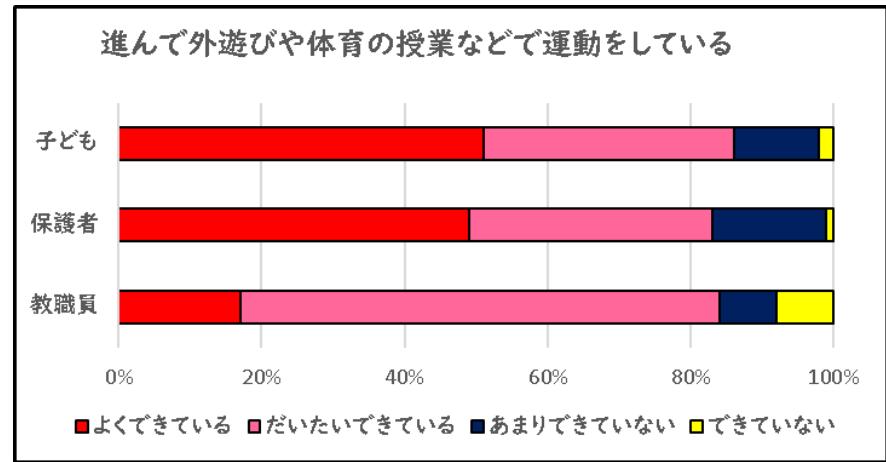
3項目とも実現度は高く、本校の子どもたちは友だちとの関わりを大切にしようとしていることがよくわかります。今年度は、たてわり遠足を1学期前半に行い、今までよりも早くたてわり活動を始めることができました。「たてわり活動で楽しく活動できている」の質問に、「よくできている」と回答した子どもは66%、「だいたいできている」と回答した子どもは24%で、合わせると90%の子どもが前向きにとらえていることが分かりました。今年度は、たてわり掃除を6月と11月に1週間ずつ行ったり、人権の日の話し合いをたてわりで行ったりと、遊び以外にもたてわりでの活動を増やしました。たてわり活動で、どんな時が楽しいかを選択肢で尋ねたところ、「全校遠足」38%、「たてわり遊び」32%、「たてわり掃除」18%、「グループで集まった時」12%となりました。「楽しい時はない」を選択し



ている子どもは、いませんでした。子どもたちは、学年を越えたたてわり活動を楽しみにしているようです。遠足や遊びなどの楽しい活動はもちろんですが、異学年で集まること自体を楽しんでいることもあります。たてわり活動は、高学年が主体性を身につけていく上でもとても効果的です。今後も、たてわり活動を定期的に行っていきたいと考えています。

<まいにち笑顔で過ごせる子ども>

給食後の歯磨きなど、日常の生活習慣が定着してきました。「進んで外遊びや体育の授業などで運動をしている」については、昨年度末と同様の86%の実現度がありました。暑い時期であったにも関わらず高い値になりました。運動委員会からの提案で、リレー大会や大縄大会を行い、体を動かす機会を増やしています。色々な遊びを体験することで、子どもの体力向上も図っていきたいとです。



<学校独自の取組(子ども)>

昨年度に引き続いて、「対話力」に重点を置いています。昨年度は、「学習中の話し合い活動(対話)を楽しんで行っていますか」という内容でしたが、今年度は「友だちと話し合うことで、自分の考えが深まっていると感じますか」としました。「楽しむ」よりも「深める」の実現は難しいので、実現度は昨年度より下がっています。しかし、それでも84%の子どもたちが「深まっている」と感じていることから、学習を深めるためにも話し合いが有効であることがわかります。今年度も、授業の中でどのように対話を取り入れるかを研究し続けたいと考えています。

自由記述について

○楽しく学校に通っています。いつもありがとうございます。
○楽しく学校に通えていて嬉しく思っています。
○学習には総じて良く取り組んでいると思います。
⇒学校が楽しいと思えることがまず大切です。色々な教職員が子どもたちに関わり、皆で子どもたちを見守っていきたいと思います。

学校運営協議会より

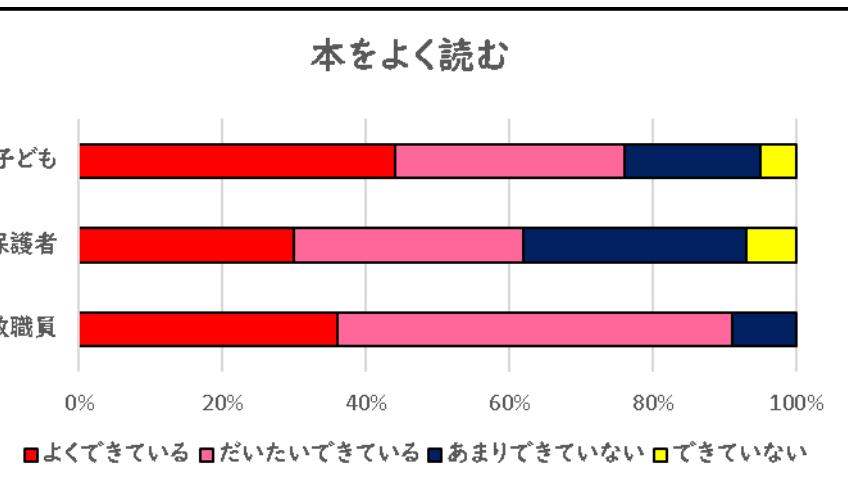
今回の学校評価アンケートの結果については、11月18日(月)の学校運営協議会にて、理事の皆様からご意見を頂戴しました。

○たてわり遊びでは、6年生が同じグループの中で相談をしながら、遊びを考えているのが良い。
○子どもたちは、進んであいさつをしている。
○帯時間で、学習の定着を図ることは大切だとは思うが、勉強ばかりではなく遊ぶ時間もあってもいいのではないか。
○「夢や目標に向かってチャレンジしている」の質問に対して、「よくできる」と回答している教職員が少ない。もっと自信をもって子どもたちに働きかけてほしい。
○運動場でできる遊びが少ない。子どもたちがもっと外で色々なことで遊べるようにしてほしい。
→実際子どもの中から、「○○したい！」という声が上がっており、運動委員会でルールなどを考えて

います。子どもたちの思いに耳を傾け、子どもたちで実行できるように働きかけています。

○あまり家で本を読まなくなっている。大人も本を読まなくなっている。学校で読書を推奨する目的は何か？

→本を読むことで、言葉の引き出しを増やしたり、対話的な要素を得たりすることができます。また、文章や単語から本の情景や背景、登場人物の感情や思考を想像する力も高められます。読書には、読解力や知識が身に付くだけではなく、論理的な思考力や集中力など子どもがこれから生きていくために必要な力も身につけられる効果があります。元町小学校の図書室には、たくさんの本があります。朝読書や定期的に図書館に行って本を読む時間を取りています。また、学級文庫として図書室の本を借りて教室で自由に読めるようにもしています。さらに、図書委員会を中心に、本に親しむ取組も行っています。今後も、子どもたちが本に親しみをもてるよう取組を進めていきます。



いただいたご意見をもとに、今後とも学校と家庭と地域が同じ姿勢で子どもたちを育てていきたいと思います。ご支援・ご協力をお願いします。

